

令和5年度事業年度評価の結果（概要）

【目的】

経営戦略の着実な推進を図るため、毎年度、各事業において計画期間内に設定している数値目標の達成度等について評価を行い、改善等を要する取組を明らかにするとともに、次年度以降の取組に反映する。

1 評価方法

(1) 数値目標のある取組

数値目標の達成度合に応じ、以下の表のとおり評価

評価指標	A	B	C	D	E
数値目標の達成度	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	※特殊事情
区分の考え方	目標が達成されたもの	概ね目標が達成されたもの	関連する事務事業の効果など、目標が達成されていない要因と課題等を分析する必要のあるもの	関連する事務事業の効果など目標が達成されていない要因と課題等をより具体的に分析する必要のあるもの	災害、新型コロナ等の影響など、やむを得ない事情と判断されるもの

(2) 数値目標のない取組

経営戦略に推進することが定められている取組における積極的な成果等を評価

2 評価結果

【数値目標あり】

事業課	評価対象 取組数	評価結果					備考
		A	B	C	D	E	
発電課	11	9	0	0	2	0	
工水課	10	7	0	0	1	(※1) 2	
計	21	16	0	0	3	2	
(結果)	<p>・達成度は、特殊事情があるためE評価とした2つの取組のほか、D評価が3件あったが、残りの16の取組はすべてA評価であった。(※2)</p> <p><D評価となった取組></p> <p>[発電課] 2件 ・新エネルギー発電設備導入件数 目標 2 → 実績 1 (達成率 50%) ・(新工ネ導入施設) 現地研修会開催件数 目標 2 → 実績 1 (達成率 50%)</p> <p>[工水課] 1件 ・一般会計からの繰入金 目標 36百万円 → 実績 78百万円 (達成率 46%) (長期借入金 3条分)</p>						

※1 道の一般会計から繰り入れる補助金(企業債償還額)及び出資金(ダム建設負担金見合い)の削減目標であるが、金額は一定のルールに基づき繰り入れられるものであり、主体的な削減等ができないもの。

※2 計画期間における最終的な数値目標は設定されているが、当該年度(R4)の目標値が0となっているものについても、適切な取組が実施されていれば「A」として整理。

【数値目標なし】

事業課	評価対象 取組数	主な取組成果	備考
発電課	7	<ul style="list-style-type: none"> 一般競争入札の実施及び容量市場への参加による収入の確保 官学連携事業による小水力発電設置に向けた取組 新工ネ導入事業等の基金(道一般会計)への繰出し 関係市町村に対する補助金による地域支援 など 	
工水課	4	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営包括委託契約の見直し ICT活用による業務効率化の検討 関係部局等との情報共有による需要開拓の検討 耐震診断結果を踏まえた施設改良方法の検討 など 	
計	11		

3 公営企業管理者の最終評価意見

・各取組に係る目標の達成状況は、今回、D評価が3件あったことから、その改善策を着実に実行し、目標達成に向けて取り組むとともに、令和5年度中を目途に行っている「経営戦略検証作業」の中で、改めてその設定目標値も含め、取組の検証を行う。